

はじめに

東京都では、平成19年度に東京都自立支援協議会を設置し、様々な障害を有する方々が、基本的人権を享有する個人としての尊厳にふさわしい日常生活や社会生活を営むことができる地域社会を構築するための協議を重ねてまいりました。

第7期（令和3年度及び4年度）においては、「都と地域の協議会活動における情報共有を促進し、当事者と共に地域課題への取り組みを考える」をテーマとして、地域自立支援協議会における地域課題や課題解決に向けた創意工夫等の情報を収集し、地域自立支援協議会と情報共有することを目指して活動を進めてきています。

令和3年度は、「当事者の視点に立って地域課題を検討する」を活動方針として、年2回の本会議の他、地域自立支援協議会交流会及び東京都自立支援協議会セミナーを開催し、地域自立支援協議会の情報共有を促進するとともに、当事者と共に地域課題への取り組みを考えるための普及啓発を図ってまいりました。

また、年度末には、都内全区市町村対象として、東京都内の自立支援協議会の動向についての調査を実施し、今般、「令和3年度版 東京都内の自立支援協議会の動向」として取りまとめました。

本冊子を活用していただくことで、東京都及び地域自立支援協議会の諸活動促進の一助となりましたら幸いです。

最後となりますが、調査の実施にあたりまして、地域自立支援協議会関係者の皆様に多大なるご協力を頂きましたことに、深く感謝申し上げます。

令和4年5月

東京都心身障害者福祉センター所長 梶野 京子